

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	香港中文大学 (国名: 中国(香港))	
留学先学部名(またはプログラム名)	International Asian Studies Programme (IASP)	
留学期間	2012 年 9 月 ~ 2013 年 5 月	
学部/学府・年次	農学部/学府	3 年次~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (期間: 1 年)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため	
	4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / () 年 () 月から) 2. 大学院進学() 大学 () 学府/研究科 () 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>授業は、文系理系問わず多くの学問領域から、また低年次のものから高度な内容まで、自分のレベルに合わせて受講できます。英語が多くの授業で使用されており、広東語で行われる授業もたまにあります。成績評価は出席、テスト、レポート、プレゼンテーションなど様々です。また、授業にチュートリアル時間が指定されているものもあります。</p> <p>また、中国語や広東語の授業もあります。出発前に WEB テストを受けるか、最初の週にレベル分けテストが行われ、初級から上級までレベル分けされ、内容は週に2時間の教室での授業と週に30分のパソコン室での確認テストでした。また、ELTUという英語を学ぶ授業もあるので参考にしてください。</p> <p>授業登録は、出発前に希望する授業を登録しますが、これは席を確保しておいてくれるだけで、登録、取り消しの期間は授業が開始してから2週目です。そのため、出発前の時点で希望の授業の席の確保ができていなくても、後から登録すれば問題無いと思います。実際に、気になる</p>	

	<p>授業の1週目の授業に全て行って見て、教授や授業の雰囲気、テストやレポートプレゼンテーションの有無を確認してから、時間割を決める事をお勧めします。</p> <p>また、理系の専門分野などの授業登録には、担当教授の許可が必要です。なので、自分の受講したい授業が、許可が必要な授業であった場合、学部のオフィスに訪ねる必要があります。その際、英語の成績証が必要でしたので、事前提出書類の中の成績証のコピーを用意すると良いと思います。</p> <p>その他としては、留学生は、授業を9単位から18単位まで取得しなければなりません。一つの授業が2~3単位のものが多いです。私は9単位だとあまりにも授業以外の時間が多い為、できるだけ18単位に近い単位数を取得していました。</p> <p>また、授業期間が終わると振替授業期間を挟んで、期末テスト期間に入ります。期末テストの場所や時間は WEB 上で発表され、体育館で行われる事が多いです。事前に期末テストの日程を知ることができないので、いつから休みが始まるかは人によって様々です。</p> <p>加えて、My CUHK という自分専用の WEB ページに、課題やテキスト、時間割などの情報や、授業登録ページがあります。必要な情報はほとんど全てこのページに載っているので、登録後はブックマークしておく事をおすすめします。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>中文大学の留学生サポートオフィス(OAL)では、数多くの留学生を受け入れていることもあり、必要なサポート体制は整っていました。主な連絡手段はオフィスから送られてくるメールでした。私は大きな怪我や問題が無かったため、訪問する機会は少なかったです。何か困ったことがあったら、自分から留学生サポートオフィス(OAL)に行く必要があります。</p> <p>また、中文大学の留学生サポートオフィス(OAL)は、色々なイベントを開催してくださいました。最初の週には、オリエンテーションやウェルカムディナー、ミニ広東語教室などが行われました。授業開始後は、毎月、香港の博物館や観光名所に出かける日帰りツアーや英語を教えるボランティアなどが開催されました。最後には、お別れパーティーも行われました。</p> <p>これらの開催の案内は、メールや Facebook のグループページに詳細がありました。(ちなみに、この Facebook のページは、留学生同士が気軽に投稿できる場であったので、私は香港到着後、学校へ行くタクシーのシェア相手を探しました。)</p>

<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>香港中文大学は、素晴らしい留学先だと思います。</p> <p>まず、中文大学の素晴らしい点の一つは、人だと思います。香港の学生、中国本土からの学生、東南アジアなどからの学生、加えて、世界からの交換留学生在が同じキャンパスで学びます。全ての学生の共通語が英語なので、英語が上達すると思います。努力次第で中国、広東語も上達すると思います。皆、とても勉強熱心で好奇心旺盛なので、一緒に話していてとても面白いですし、自分自身も一緒にモチベーションをどんどん上げることができました。</p> <p>また、中文大学のキャンパスや寮がとても好きでした。香港という街は、常に忙しく、混雑しています。それが、魅力的な面でもありますが、中文大学は、このような香港の街の雰囲気とは異なり、自然豊かなキャンパスで穏やかな時間が流れています。学校内には、勉強ができる環境だけでなく、友人との仲を深められるような環境、設備が整っていることも素晴らしい点です。キャンパス内に住む事で、色々な人に出会うチャンスが多く、顔見知りの人が友人になる事がとても多かったです。</p>
<p>同じ大学への留学を希望する人 たちへのアドバイス</p>	<p>きっと、香港中文大学ならば、一生のうちで思い出に残る体験ができると思います。</p> <p>ですが、その為には、留学準備が必要です。自分の中での決意、色々な留学先の比較、選考の準備、英語や中国語の勉強などです。そのときは、大変だと思うこともあるかもしれませんが、きっと準備に費やした時間は、のちの留学生活で役に立つと思います。</p> <p>また、私は出発前や香港到着後は、期待と不安がありました。現地では、留学生同士、はじめて知り合った人ばかりだと思います。躊躇せず、自分から沢山話しかけて、友人を作る事で、その友人が友人を紹介してくれて、友人の輪が広がると思います。</p> <p>また、香港人の友人を沢山つくと、香港の文化などを知れると思うので、留学生だけでなく、香港の学生にもどんどん話しかけたほうが良いと思います。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	

ビザの種類	学生ビザ
ビザ申請先	香港中文大学
必要書類、手続き方法	中文大学の留学生サポートオフィス(OAL)から送られてくるビザに関する書類に記入し、提出しました。
手続きに要した時間	
その他必要な事前手続き	

3. 日常生活

日常生活の概要、感想	<p>キャンパスには食堂、スーパー、書店、理髪店、銀行があるので、キャンパス内から出なくても生活できます。</p> <p>買い物でしたら、一番近いショッピングモールは沙田駅に併設されており、必要なものはほとんど全てそこで手に入れることができます。(ユニクロ、イケア、日本食スーパー、日本食フードコートなども有り。)はじめのうちに必要なのは、携帯電話本体、寝具(シーツと枕とベットカバー)、(自炊するのであれば)キッチン用品だったと思います。それらも沙田で手に入ります。</p> <p>香港の物価は、交通費と野菜の価格は日本よりずっと安いですが、その他のものは日本とほぼ同じと考えて良いと思います。食事に関しては、安い食堂から高いレストランまで幅広くあります。</p> <p>また、主な交通手段は MTR(地下鉄)やバス、ミニバス、フェリーでした。どれも頻繁に本数があるので、非常に利便性が高いです。これらを使えば香港中に行けると思います。また、MTR の終電後は、ミニバスが旺角から大学まで出ています。香港は、眠らない街と言われる通り、夜遅くまでお店が開いているので、使う機会があるかと思います。</p> <p>また、各寮にある自習室や一部の図書館で24時間勉強できます。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 40000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:15000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 20000 円、電話代: 2000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 3000 円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>

<p>日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>香港のガイドブック:地図や香港の事全般の情報が細かく載っているので、お出かけをする時に便利でした。 パソコンや USB:図書館でパソコンが使えますが、持参したほうが便利だと思います。プリントの際、USB あると便利です。変圧器も必要です。</p> <p>香港では、ほとんどのものが現地で買えるので、あまり心配はいらないと思います。日本の本、食品、洋服なども手に入ります。また、冬は寒くなるので長ズボンや薄手のコートが必要(現地調達可能)で、夏は海やプールにも行けるので水着を持っていくと良いと思います。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>大学内の治安は、非常に良いと思いますが、貴重品などの管理は十分注意したほうが良いと思います。(貴重品を放置しない、置いた場所には鍵をかけるなどの対策) 大学外では、様々な人がいます。香港では、一歩路地に入るとすごく危険という事を聞きました。一人で行動する場合は注意してください。 また、中国の深圳に行った際、友人が携帯電話を盗まれました。全てが自己責任です。自分は大丈夫だろうと気を抜かず、常に身の回りの貴重品には注意を払うべきだと思います。</p>
<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>私は、現地で口座は開設せず、ATM で引き出したり、日本から持っていった現金を両替所で換金したりしていました。レートなどを比較するのが適当だと思います。 もし、口座を開設するならば、寮費の振込や洗濯機代のチャージもできるので、恒生銀行が便利だと思います。(口座を開設しなくても、振り込みやチャージできる方法はあるので心配無しです。)</p>
<p>4. 住居、生活環境</p>	
<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>S.H.Ho College, The Chinese University of Hong Kong, Shatin, N.T., Hong Kong</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>HK\$1355</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>中文大学の留学生サポートオフィス(OAL)から案内が来ました。 出発前に、大学内にある寮の中から、どの寮が良いか、希望を出しました。</p>

<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>推薦できます。</p> <p>この寮は、清潔、立地が良い、寮内イベントが面白いです。</p> <p>まず、この寮にあるシャワー、トイレ、キッチンはほぼ毎日清掃員の方によって掃除されている為、非常に清潔です。</p> <p>次に、中文大学は、キャンパスが広いので、駅からの距離やバス停の近さを考える必要があります。この寮は、駅からも歩ける距離でバス停も近い為、立地がとても良いです。</p> <p>また、この寮では寮内イベントを通して友人を作る機会がとても多くあります。週に3回あるCommunal Dining や High Table Dinner といって、寮生が皆で晩ご飯を食べる機会により、晩ご飯の心配が無く、毎日友人と食事ができます。また、寮の代表チームが企画する様々なイベントは、非常に工夫が凝らされていました。例としては、農場見学、特技披露大会のようなもの、ディスコナイトなどです。</p> <p>ちなみに、この寮は2つの棟から成り、全てが2人部屋です。寮内には、ジム、音楽室、卓球台、談話室、洗濯室、寮の地下には食堂があり、また、各階にキッチンとコモンルーム、シャワー、トイレがあります。部屋やルームメイトは事前に決められていました。この寮は、現地学生が多く、留学生は 10%くらいだと聞きました。私のルームメイトは中国人で、私の年は日本人が6名いました。(交換留学生同士でペアになって2人部屋という人のほうが多かったです。)</p> <p>寮を決める際は、立地やどのくらい留学生がいるのか、寮の規模などを考えると良いと思います。</p>
---------------------------------	--

<p>留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>学内には、音楽室やプール、体育館、陸上トラック、マリンスポーツ施設などもあるので、休日も学内で十分楽しめます。</p> <p>学外出ると、沢山の観光名所や中国本土へ行く機会などがあります。香港は小さい街ですが、地域ごとに異なる雰囲気を持っており、非常に面白い街です。ぜひ、たくさんの場所を訪ねてみてください。また、香港は安くておいしい料理が有名なので、試してみるのも良いと思います。そして、中国本土へは、電車で行けます。広州や深圳などを、香港と比べるのも面白いと思います。</p> <p>また、香港では、中国本土、東南アジアなどへの国際線が多く発着しており、休み中にお出かけも良いでしょう。</p>
-------------------------------------	--

5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
<p>My CUHK</p> <p>Discover Hong Kong</p>	<p>https://portal.cuhk.edu.hk/</p> <p>http://www.discoverhongkong.com/</p>	<p>授業登録、時間割確認など色々な情報が載る自分専用ページ</p> <p>香港政府観光局による香港紹介のページ</p> <p>イベント情報も入手できる</p>

6. その他の特記事項

私自身、9ヶ月間の留学を通して、色々な発見や学びがありました。交換留学をすることを選んで、また、この大学を選んで本当によかったと思います。これを読んでいる皆さんが、もし交換留学に行くか迷っているならば、迷っている理由を考えてみて、それを解決できる方法を探してみてください。きっと交換留学に行く事で、自分自身が成長すると思います。

最後に、私は本当に素晴らしい機会と環境に恵まれました。留学生課の皆様、お世話になった教授や仲間、周りの方々に大変感謝しております。どうもありがとうございました。